

# 歴史 History

## ■原始・古代

山梨県の大地に人々の営みが認められるのは、約3万年前からです。原始社会は、狩りや魚とりや木の実を採集する段階から、やがて米づくりの段階へと進み、ムラが統合されてクニが形成されます。

4世紀末から大丸山古墳や銚子塚・丸山塚古墳が造られますが、このことから甲府市中道地区の曾根丘陵に大きな勢力が存在していたことがうかがえます。

8世紀の山梨は、甲斐国といひ「山梨・八代・巨麻・都留」の4郡からなり、その中心は、国府・国衙の地名や国分寺があることから今の笛吹市の春日居町、御坂町、一宮町付近にあったといわれています。

12世紀に入ると公家による古代国家の体制は揺らぎ、その中から台頭してきたのが武家でした。1131年ころ、甲斐国には源義清、清光の親子が入り、甲斐源氏を興します。

## ■中世・近世

甲斐源氏の諸氏のうち、武田氏や小笠原氏、南部氏などは後世まで繁栄します。

16世紀の武田氏は、戦国大名として発展し、甲府につつじヶ崎館や要害城を築き、ここを拠点に四隣経路を進め、天下統一を目指しました。

1582年武田氏滅亡後の甲斐国は、織田・豊臣・徳川と支配が移り、江戸幕府の下で、甲府藩(国中)・谷村藩(郡内)が成立しますが、1724年には幕府直轄地となります。甲州街道や富士川水運の発達は、物資の流通や文化の流入を促しました。

19世紀に入ると、幕藩体制の矛盾から各地に一揆が多発し、本県でも天保騒動がおこりました。このころ、日本は欧米諸国の圧

力により鎖国を解き、近代国家の道を歩み始めることになります。

## ■近代・現代

甲州は、明治元年(1868)3月、官軍の甲府城入城後、甲斐府から甲府県を経て、同4年11月20日に山梨県となります。(現在11月20日は「県民の日」)。

明治前半は、藤村県令の勸業政策により、製糸業やぶどう酒醸造業が育成されます。後半には、中央線が開通し、産業や文化が進展します。本県の農家は、小作地率が高く、大正から昭和にかけて小作争議が多発しています。富士川水運は、中央線の開通によって急激に衰退し、身延線の開通する昭和初期にはその歴史を閉じます。

昭和20年(1945)、終戦を迎え、戦後の農地改革によって自作農中心の体制となり、その後の農業経営は果樹への転換が著しくなります。高度経済成長期には本県でも商工業が発達しました。さらに、昭和57年(1982)の中央自動車道の新全線開通は、物流に拍車がかかり、ますますの工業化が進んで今日に至っています。



丸山塚古墳

- 27年(1894) 甲府市西青沼に甲府測候所設置。
- 30年(1897) 甲府魚市場開業。
- 32年(1899) 県会議員選挙直接選挙制となる。開国橋開通。
- 33年(1900) 県立山梨県中学校を甲府城跡に新築移転。甲府電力会社開業。
- 35年(1902) 山梨県高等女学校を寿町に開校。中央線笹子隧道貫通、中央線大月駅まで開通(翌年韮崎駅まで開通)。
- 37年(1904) 甲府城跡を開放して舞鶴公園とする。
- 38年(1905) 東京～甲府間電話開通。
- 42年(1909) 県内各地で耕地整理着手。
- 44年(1911) 御料林を山梨県へ下賜の御沙汰書。中央線新宿～名古屋間全線開通。

## 大正

- 元年(1912) 山梨県恩賜県有財産管理規則制定。
- 5年(1916) 県病院新築完成。
- 9年(1920) 恩賜記念の謝恩塔が舞鶴公園に完成。第1回国勢調査、県人口58万3453人。県下初の鉄筋コンクリート橋、笛吹川鶴飼橋竣工。
- 12年(1923) 富士川の鰍沢～身延間に飛行艇(プロペラ船)就航。
- 14年(1925) 県営八ヶ岳牧場開設。

## 昭和

- 2年(1927) 富士山測候所開設。

- 3年(1928) 富士身延線鉄道全線開通。
- 5年(1930) 県庁新庁舎完成。県産繭額明治以来最高の463万貫を記録。
- 6年(1931) 中央線甲府～新宿間電化。
- 10年(1935) 国鉄小海線全線開通。
- 11年(1936) 富士箱根国立公園指定。
- 16年(1941) 富士身延線が国鉄身延線となる。
- 19年(1944) 酒石酸生産のためブドウの生食禁止。東海大地震で甲府にも被害。
- 20年(1945) 甲府大空襲、全市の74%が焦土と化す。
- 23年(1948) 県教育委員会発足。第1回県芸術祭開く。
- 24年(1949) 山梨大学開学。
- 25年(1950) 「山梨県の歌」決まる。第1回全国植樹祭開催。
- 29年(1954) 塩山町が奥野田村を合併、町村合併促進法に基づく合併第1号。県立精神病院開院。
- 32年(1957) 県営西山発電所営業発電開始。



新笹子トンネル開通

- 33年(1958) 国道20号に新笹子トンネル開通。
- 34年(1959) 県農試果樹分場でジベレリン処理による種なしブドウの栽培に成功。
- 35年(1960) アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結。
- 37年(1962) 甲府市で初の下水道使用開始。
- 39年(1964) 富士山有料道路(スバルライン)開通。
- 40年(1965) 富士山頂で世界一の気象レーダー始動。
- 41年(1966) 県立北病院開院。
- 42年(1967) 新御坂トンネル開通。
- 44年(1969) 山梨県開発公社発足。
- 45年(1970) 第1回信玄公祭り開催。県立中央病院開院。
- 46年(1971) 愛宕山こどもの国完成。河口湖大橋開通。
- 47年(1972) 昇仙峡グリーンライン開通。
- 48年(1973) 甲府精進湖有料道路開通。身体障害者福祉センター、身体障害者更生相談所開所。ブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州と姉妹締結。
- 49年(1974) ワインセンター完成。広瀬ダム完成。
- 52年(1977) 県流通センター、田富町(現中央市)にオープン。
- 53年(1978) 県立美術館開館。
- 54年(1979) 南アルプススーパー林道開通。中道町(現甲府市)で方形周溝墓群を発掘。
- 55年(1980) 国立山梨医科大学開学。
- 56年(1981) 甲府北バイパス全線開通。宝石美術専門学校開校。
- 57年(1982) 金川曾根広域農道竣工。県立考古博物館開館。中央自動車道全線開通。県民文化ホール竣工。
- 58年(1983) 県立あさひワークホーム竣工。
- 59年(1984) 県立総合婦人会館竣工。県歴史文化公園条例制定。新甲府駅舎がオープン。
- 60年(1985) 高山植物保護に関する条例を制定。中国四川省と友好県省締結。県地場産業センターオープン。
- 61年(1986) 情報公開制度スタート。丘の公園、清里の森オープン。かいじ国体、ふれあいのかいじ大会開催。第1回県民の日。

- 62年(1987) 第1回ふれあいやまなしことぶき祭り開催。
- 63年(1988) 第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催。

## 平成

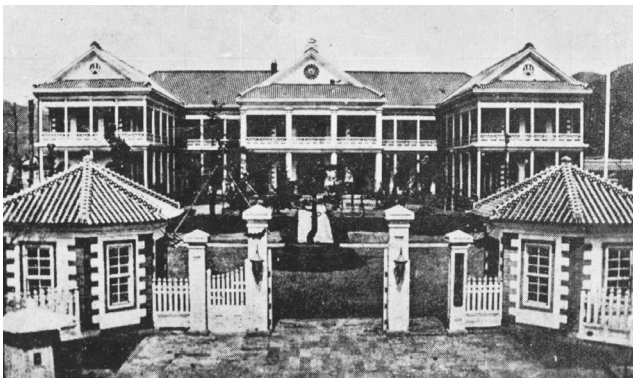
- 元年(1989) リニア新実験線建設地が山梨に決定。東富士五湖道路全線開通。県立文学館開館。
- 2年(1990) 第14回全国高等学校総合文化祭開催。第14回全国育樹祭開催。国際交流センター竣工。
- 3年(1991) 県景観条例全面施行。
- 4年(1992) 大韓民国忠清北道と姉妹締結。県工業技術センター竣工。情報教育センター竣工。環境首都憲章制定。富士山有料道路マイカー規制の実施。障害者幸住条例施行。
- 5年(1993) 山梨幸住県計画策定。長寿やまなし県民憲章策定。県立看護短期大学竣工。
- 7年(1995) 防災ヘリコプター「あかふじ」運航開始。アイメッセ山梨竣工。笛吹川フルーツ公園オープン。
- 8年(1996) 地方病の流行終息宣言。富士ふれあいの村開村。全国高等学校総合体育大会開催。
- 9年(1997) 山梨百名山選定。県環境科学研究所開所。8月8日を「やまなし『山の日』」に制定。
- 10年(1998) 雁坂トンネル開通。県立看護大学開学。県立科学館開館。県立フラワーセンター開園。富士山憲章制定。新行政改革大綱策定。県立産業技術短期大学校開校。県民情報プラザ開設。
- 12年(2000) フランス共和国ソヌ・エ・ロアール県と姉妹締結。小瀬スポーツ公園アイスアリーナ竣工。
- 13年(2001) かいじきらめき国体開催。第52回全国植樹祭開催。新県立中央病院が第1期開院。
- 14年(2002) 中部横断自動車道白根IC～双葉JCT間開通。
- 15年(2003) 「平成の大合併」県内第一号として、新・南部町誕生。中央自動車道上野原IC～大月JCT間の6車線化拡幅工事が完成。行財政改革プログラム策定。山梨県長期総合計画「創・甲斐プラン21」の策定。舞鶴城公園稲荷櫓復元。富士の国やまなし館オープン。県立美術館新展示室オープン。
- 17年(2005) やまなし・ゆめふじ国体開催。県立中央病院全院開院。山梨県立大学開学。県立博物館開館。
- 18年(2006) 中部横断自動車道「富沢IC(仮称)～六郷IC(仮称)」新直轄方式での整備決定。あけぼの医療福祉センター竣工。
- 19年(2007) 富士山の世界文化遺産暫定リスト登載。「チャレンジ山梨行動計画」の策定。中部横断自動車道増穂以南で本線工事に着手。
- 20年(2008) 富士・東部小児初期救急医療センターオープン。琴川ダムの供用開始。県立美術館開館30周年を記念し、彫刻「ザ ビッグ・アップルNo.45」を設置。
- 21年(2009) 県立美術館に「ミレー館」オープン。やまなし観光推進機構が発足。山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター開所。



山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター

## 明治

- 元年(1868) 官軍甲府入城。甲斐府を置く。
- 2年(1869) 甲斐府を廃し甲府県とする。
- 4年(1871) 甲府県を山梨県に改め、土肥実匡県令となる。
- 6年(1873) 大阪府参事藤村紫朗、山梨県権令となる(翌年県令となる)。
- 9年(1876) 県病院開院。
- 10年(1877) 初の県会議員選挙。第1回県会を太田町一蓮寺で開く。山梨県庁落成。



明治10年落成当時の山梨県庁

- 22年(1889) 市町村制施行。
- 23年(1890) 府県制公布。県に警察部を設置。
- 24年(1891) 県下に郡制を施行。本県に府県制を施行。